

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課

教育委員会事務局 生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館(今市・日光・藤原)			
	所在地	日光市中央町29番地1 日光市御幸町4番地1 日光市鬼怒川温泉大原1404番地1			
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体			
	代表者名	代表取締役 細川 博史			
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号			
指定期間		平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5 年間	
選定方法		公募	評価実施年	5 年間のうち 4 年目	
施設設置目的		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。			
主な実施事業		・窓口業務(資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借) ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等(資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル) ・自主事業の開催(展示、各講座等の企画及び実施.事後報告) ・市内小学校への移動図書館の定期的実施			

3. 利用状況(目標と実績) jigo

成果指標		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	資料貸出数	点	364,000	356,338	368,700	377,418	369,000	375,991	369,200	289,686		
b	市民一人あたり貸出数	点	4	4	4	4	4	4	4	4		
c	事業開催件数	回	84	163	86	145	87	138	89	56		
d	管理運営全般の満足度	%	80	89	82	86	80	92	85	93		
e	接遇の満足度	%	80	99	82	95	80	96	85	98		

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入計 A		156,389,000	157,019,000	159,918,000	159,933,820	0
	指定管理料	156,389,000	157,019,000	159,918,000	159,918,000	
	利用料収入 C					
	自主事業収入					
	その他				15,820	
支出計 B		156,236,769	156,773,000	158,990,392	158,857,421	0
	指定事業費	154,409,660	153,873,000	154,270,071	154,754,833	
	内人件費 D	86,131,240	83,229,000	86,268,873	87,288,486	
	内外部委託費 E	18,834,735	4,739,000	4,895,000	6,685,474	
	自主事業費	1,827,109	2,900,000	4,720,321	4,102,588	
事業収支 A－B		152,231	246,000	927,608	1,076,399	0
人件費率 D／B		55.13%	53.09%	54.26%	54.95%	#DIV/0!
外部委託比率 E／B		12.06%	3.02%	3.08%	4.21%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	今市図書館での防災アンテナ設置に係る電気料金と日光市生活困窮者就労準備支援事業の収入があった

サービス改善の状況

新型コロナウイルス対策のため、各館のカウンターにビニール等の仕切りをつくり、感染予防に努めた。また、密にならないよう間隔をあげ並ぶよう工夫した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
② サービスの 質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
③ 安定性	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		緊急事態宣言にともない、臨時休館となったが、その期間中でも資料の予約や延長のほか、宅配や電子図書館の利用が多くなった。また、SNS(ツイッター)		
		を開始し開館時間やイベントの周知を行った。事業に関しては講座の参加人数を絞り、小まめな換気など工夫を凝らし、貴重な学びの場の確保に努め、3館		
		回のしかけ絵本展示も実施した。感染予防に対しては最大限の対策を講じるべく、ガイドラインにそって館内の快適な環境づくり、安全管理に努めた。		
		(所管課評価)		
		令和2年度は新型コロナウイルスの影響で34日間の休館になり、貸出冊数も利用者数も令和元年度より減となったが、職員が一丸となってコロナ対策に		
		していただいた。一方、宅配や電子図書館の利用が増え、コロナ禍における図書館の新たな利用方法にも期待したい。		
		今後もおはなし会や講座等を開催する際に感染対策をしっかり行い、徐々に参加人数を増やしていったほしい。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		